

当院にて白内障手術を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学水道橋病院眼科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

1. 現在、当院では「フェムトセカンドレーザーによる前囊切開の経時的変化の後ろ向き評価」という研究を行っています。これは、当院でフェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術を受けた患者様について、レーザーで切開された水晶体の袋（前囊切開）の変化を手術後にみていく研究です。
2. 調査の対象となるのは、平成27年5月から平成29年12月までの間に当院にてフェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術を受け多焦点眼内レンズ（PODFT: PhysIOL 社、ZMB00/ZLB00/ZKB00: Abott Medical Optics 社）が挿入された患者様です。
3. 性別、年齢、手術日、手術後の前囊切開の形状、視力などについて、調査担当医師が対象となる患者様の症例調査票を作成します。
4. 症例調査票には、住所・氏名などの患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。
5. 本研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。
6. この研究への参加を希望されない場合は、その旨をお知らせ下さい。参加されない場合でも、患者様が不利益を受ける事はありません。
7. 本研究について質問あるいは疑問がある時は、いつでも研究責任者または問い合わせ窓口にご連絡ください。
8. この研究は東京歯科大学倫理審査委員会による審査を経て、学長の承認を得て行われています。

研究責任者 谷口 紗織（臨床講師）

問い合わせ窓口 東京歯科大学水道橋病院眼科
電話 03-5275-1856